

部品交換要領書

玄関引戸 (千本格子)、玄関引戸 80 型用
戸先・召合せ 内外締り錠セット

HHW13-040
2015年3月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

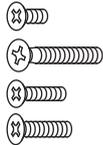
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、引戸が急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ (とがった角) でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

同梱されているもの

戸先・召合せ 内外締り錠セット	取付ねじ	交換要領書
HH-J-0406  戸先錠シリンダー付: 1個 召合せ錠シリンダー付: 1個 子カギ: 3本	 <ul style="list-style-type: none"> 戸先錠ケース取り付け用: 皿 M4×8×2 本 戸先錠取り付け用: 皿 M4×25×2 本 内召合せ錠取り付け用: 皿 M4×16×2 本 外召合せ錠取り付け用: 皿 M4×20×2 本 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>本書</p> </div> <p>1 枚</p>

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー
  1 本

※部品が全てそろっていることを確認してください。

部品の取りはずし方

お願い

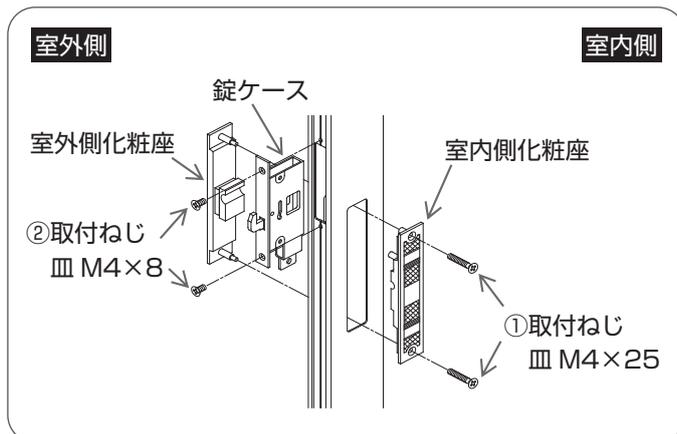
素手での作業は加工穴や部品のエッジ (とがった角) でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

1 戸先錠シリンダー付の取りはずし



外觀

戸先錠シリンダー付: 外観右側
※引戸の勝手 (通用側) を変更されている場合は左側になります。



- ①室内側よりプラスドライバーで室内側化粧座の取付ねじをはずし、室内側化粧座および室外側化粧座をはずす。
※取付ねじをはずすと、室外側化粧座がはずれます。落下にご注意ください。
- ②プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし、錠ケースをはずす。

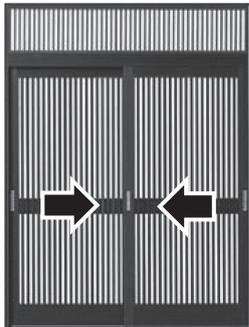
※部品の取り付け方は 3・4 ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

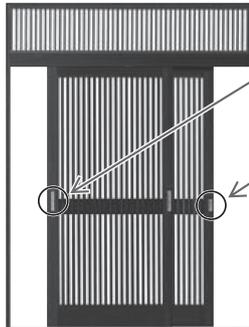
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

2 召合せ錠シリンダー付の取りはずし



内障子 外障子

外観

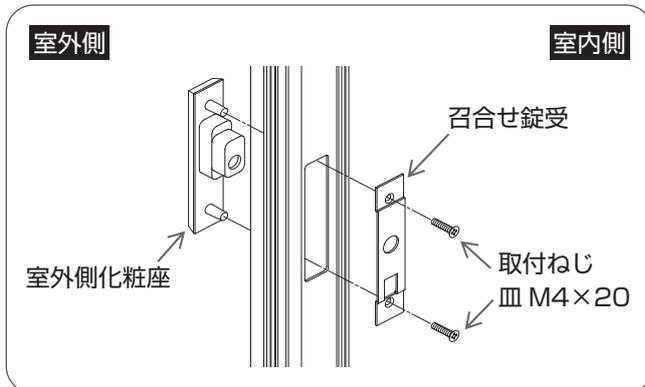


外障子 内障子

外観

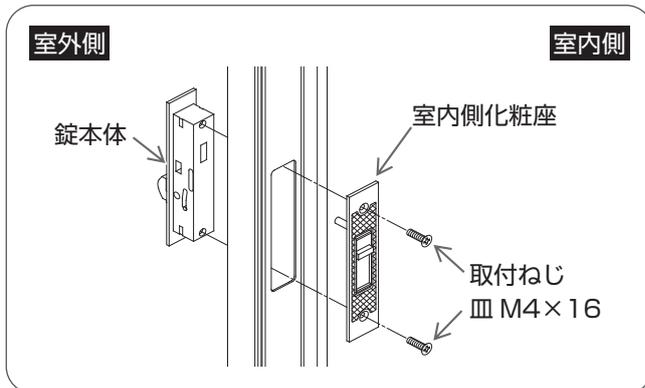
外障子と内障子を行き違えて召合わせ面の召合せ錠受および召合せ錠を見えるようにする。

2-1 召合せ錠受 (外障子側) の取りはずし



室内側よりプラスドライバーで召合せ錠受の取付ねじをはずし、召合せ錠受および室外側化粧座をはずす。
※取付ねじをはずすと、室外側化粧座がはずれます。落下にご注意ください。

2-2 召合せ錠 (内障子側) の取りはずし



室内側よりプラスドライバーで室内側化粧座の取付ねじをはずし、室内側化粧座および錠本体をはずす。
※取付ねじをはずすと、錠本体がはずれます。落下にご注意ください。

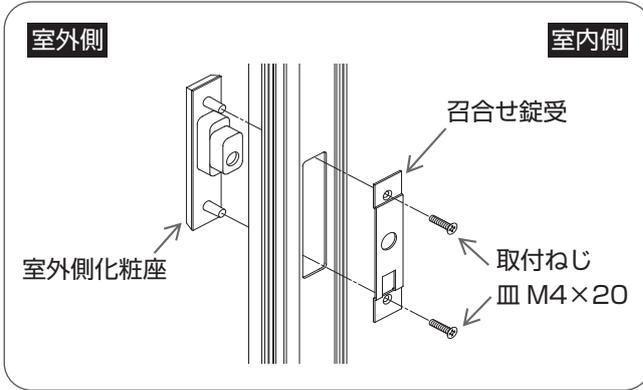
※部品の取り付け方は3・4ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

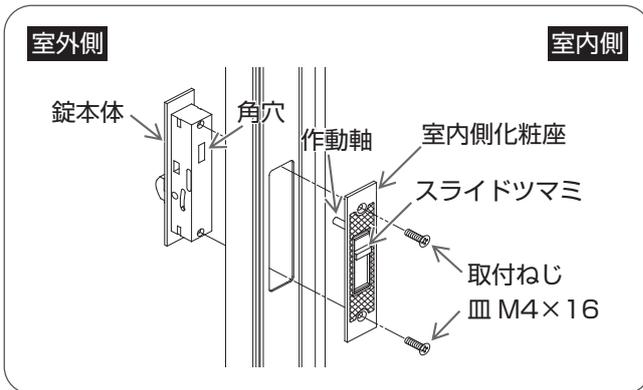
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

1-1 召合せ錠受 (外障子側) の取り付け



召合せ錠受および室外側化粧座を取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

1-2 召合せ錠本体 (内障子側) の取り付け



- ① 召合せ錠本体および室内側化粧座を取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじを仮止めする。
※室内側化粧座を取り付ける際、必ず室内側化粧座の作動軸を錠本体の角穴に差し込んでください。
- ② 障子をしっかり閉め、室内側化粧座および錠本体を調整し、スライドツマミで施解錠ができる場所でプラスドライバーで取付ねじをしめる。

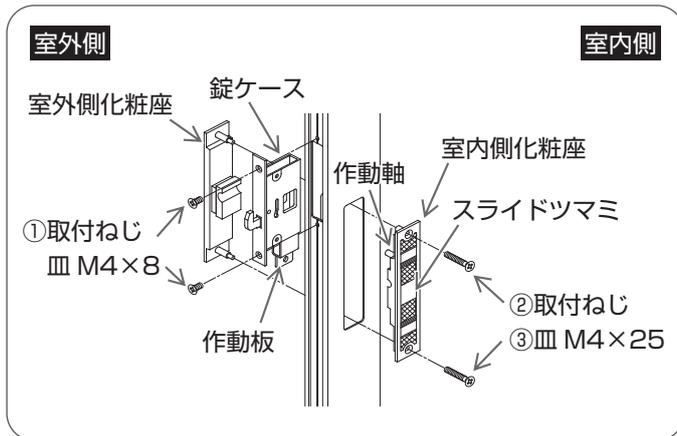
※部品の取りはずし方は 1・2 ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

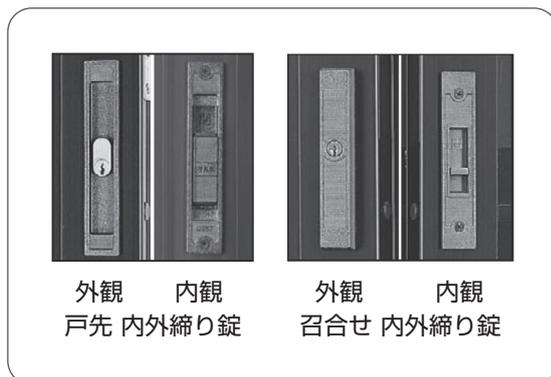
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。

2 戸先錠シリンダー付の取り付け



- ①錠ケースを取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。
- ②室内側化粧座および室外側化粧座を取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじを仮止めする。
- ※室内側化粧座を取り付ける際、必ず室内側化粧座の作動軸を錠ケースの作動板の穴に差し込んでください。
- ③室内側化粧座および室外側化粧座を調整し、カギとスライドツマミで施解錠ができる場所でプラスドライバーで取付ねじをしめる。

部品の交換後のチェック



- ①部品にガタつきがないことを確認してください。
- ②取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ④スライドツマミを動かし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は 1・2 ページをご覧ください。